

群馬工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	社会政策	
科目基礎情報							
科目番号	5E001			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子メディア工学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	半田 諒志,宮川 剛						
到達目標							
①社会政策が成立した背景を説明することができる。 ②社会政策の全体像と各制度を説明することができる。 ③社会政策の現代的論点を説明することができる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	社会政策が成立した背景を詳細に説明できる。		社会政策が成立した背景をおおまかに説明できる。		社会政策が成立した背景を説明できない。		
評価項目2	社会政策の全体像と各制度を詳細に説明できる。		社会政策の全体像と各制度をおおまかに説明できる。		社会政策の全体像と各制度を説明できない。		
評価項目3	社会政策の現代的論点を詳細に説明できる。		社会政策の現代的論点をおおまかに説明できる。		社会政策の現代的論点を説明できない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	自分たちがかわらざるを得ない社会政策について学ぶことで、制度の知識をつけるだけでなく、その背景となる歴史的・政治経済的・理念的な前提や今後の論点について理解することを目的とする。それにより、受講者自身に関わるテーマについて理解すると同時に、属性の異なる他者が直面する状況への理解を深め、想像力を豊かにし、今後の学びの前提となる理解を得ることを目指す。						
授業の進め方・方法	進行形式は、配布するレジュメと板書を用いた講義による。講義では、社会政策に関する多様なテーマ（労働・健康・障害・貧困と不平等・人口と家族・ジェンダー）につき概論的な検討を行う。内容理解のために、適宜グループワークやディスカッションを実施する。						
注意点	・制度や政策を自明視せずに、なぜこんなものが成り立っているのだろうかと考えるようにしてください。 ・自身がこれまで学んできた専門知識と切り離さずに、講義を聞いてくれると嬉しいです。 ・質問や発言は大歓迎です。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容		週ごとの到達目標		
		1週	イントロダクション		講義全体の概要（進め方）を説明する。社会政策の概要（取り扱う領域や方法、歴史）を理解する。		
		2週	福祉国家の誕生		福祉国家の基本的な問題である「貧困と格差」についての政策について理解する。		
		3週	社会政策の機能と財政		社会政策が果たす複数の機能と社会政策の財政面を理解する。		
		4週	社会政策の基本手法		現在の社会保障制度を概観する。		
		5週	保険の仕組みと社会保険（１）		社会政策は保険の仕組みを採用することによって発展してきた。保険の仕組みとは何か、基礎的なところを理解する。		
		6週	保険の仕組みと社会保険（２）		社会保険の特徴と種類を学ぶ。あわせて社会保険の実態と課題をデータから理解する。		
		7週	福祉国家の歴史と現在		福祉国家の歴史を学び、福祉国家を成立させてきた基礎が揺らぎつつあることを理解する。		
	2ndQ	8週	中間試験				
		9週	生活保護と支援		生活保護制度の成立と機能、問題点について理解する。		
		10週	年金（１）		公的年金制度の概要と機能を学ぶ。		
		11週	年金（２）		公的年金制度の持続可能な運営における論点を取り上げ、年金の課題と改革の現状を理解する。		
		12週	医療保険		医療保険、医療サービスの提供体制を学ぶ。		
		13週	雇用政策（１）		社会政策が福祉政策と雇用政策の双方から成立することを確認しつつ、雇用政策の中の雇用保険の概要と論点を学ぶ。		
		14週	雇用政策（２）		雇用政策の実施体制、運用体制を学びつつ、雇用保険と労働者災害補償保険について理解する。		
		15週	定期試験				
		16週	福祉国家の課題と今後の論点：ワークフェア・就労支援		生活困窮の状態にある者や生きづらさを抱えた若者等の社会的包摂政策について、その必要性や問題点を理解する。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	社会	現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。			3	
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	授業への積極性・課題（ワークシート、リアクションペーパー）	合計	
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100	
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	